



す や ま

東京都議会議員【八王子選出】

須山たかし

1980年11月6日生まれ。桐朋高校、早稲田大学社会科学部卒。大隈塾・高野孟ゼミ1期生。特許事務所、連舫参議院議員秘書、府中市議会副議長等を経て、現職。東京都議会 環境・建設委員会副委員長。東京都議会立憲民主党多様性PT座長。

第2回定例会（6月議会）



令和5年第2回定例会（6月議会）が6月6日から21日まで開催されました。

今定例会には、新型コロナの「5類」移行後における医療提供体制の整備や物価高対策等を盛り込んだ2219億円の補正予算案などが、提案されました。

- 東京都議会立憲民主党は、
- 今後パンデミックが起きた時に、今までの施策を活かすため、東京都の**新型コロナ対策を検証**すること。
 - 社会で子育てをすることを目指して、**学校給食の無償化**や**東京都版子ども手当（018事業）の恒久化**をすること。

といった政策を提案、また、持続的な賃上げ、激甚化する風水害対策などについて知事に答弁を求めましたが、一部の質問に対して、**知事が答弁をしない**という場面も見られました。

都議会は行政の行う事業のチェックをする場であり、質問には知事が答弁することが前提であるにも関わらず、答弁をしない姿勢はいかかなもののでしょうか？

知事が答弁できないような事業はすべきでないと考えます。

神宮外苑1000本の樹木を守る

「1000本の樹木を伐採して良いの？」

皆さんは神宮外苑の再開発をご存知でしょうか？

故**坂本龍一**氏が生前、開発の見直しを求めて小池知事に手紙を送り、知事は「**事業者の明治神宮にも手紙を送られた方がいいんじゃないでしょうか**」と仰ったという報道があったことをご存じの方もいるでしょう。



参考人招致の賛成意見を述べました。

100年の歴史ある神宮外苑地区の再開発事業が進んでいますが、有識者による国際記念物遺跡を議論する、日本イコモス国内委員会から、東京都環境影響評価審議会（R5年第1回総会）において、事業者が提出した『自然環境アセスメント技術マニュアル』には数多くの誤りと虚偽の内容があると指摘を受けました。

東京都議会立憲民主党は再開発自体には反対をしていません。しかし、100年の歴史ある森や樹木は可能な限り伐採しない開発というものを訴えてきました。「緑の創出と自然環境の保全」を掲げ、環境都市を目指している東京都が、近隣の住民やこの森に愛着を持っている方々など「**都民の理解**」を得て開発を進めていくべきだと考えます。

6月5日に開催された環境・建設委員会で審議をした外苑の開発を止めることを求めた請願において、「神宮外苑再開発の請願審査において参考人招致を求める要望書」を市民団体の皆さんから頂きました。

都議会立憲民主党は事業者と日本イコモス、双方の意見を聞く場を設けることが必要だと考え、参考人招致の動議に賛成をしましたが、賛成少数で否決をされてしまいました。

その後、6月15日には環境アセスメント分野の国際学会である国際影響評価学会（IAIA）の日本支部からも手続きに問題があるとして、東京都に対し、事業者に工事の一時停止を命じるよう勧告が出ました。引き続き、この問題に取り組んで参ります。

皆さんからのご意見をお寄せください。



統一教会と政治の癒着



6月18日にクリエイトホールで開催された鈴木エイト氏の講演会、「このままでいいの？統一教会と政治の癒着」に参加しました。

これまで、安倍元総理が撃たれるまで、どの様に旧統一教会によって政治が歪められてきたのかのお話を伺いました。

お隣、多摩市では旧統一教会が土地を購入し、東日本で最大級の研修施設を建設するとの報道がされています。

東京都としてどの様に対応していくべきか、今後也会派として二世信者の方をはじめ、関係の皆さんからご意見を伺い、取り組んで参ります。

PFAS(有機フッ素化合物)の汚染



多摩地域におけるPFAS（有機フッ素化合物）の水汚染の勉強会に参加しました。

PFASとは人工的に作られた物質で、発ガン性があると認定されています。近年、米軍基地や工場周辺での検出が続いており、2023年2月には東京都多摩地域の水道水源の井戸水からPFASが検出された問題で、都からの要望で国も必要な対策を検討しています。

現在、国に明確な基準値がないため、基準値を設けること、都民の不安を解消するために浄水設備などへの補助を創設することを求めています。

都民の暮らしや健康を守るため、しっかりと取り組んで参ります。

新しい太陽電池の実用化へ



須山たかしが事務局長をつとめる、会派まちづくり部会で森ヶ崎水再生センターの視察を行いました。同センターでは現在、**ペロブスカイト太陽電池**の実証実験を行っています。

写真の黒いシートが実物で、後ろにある従来のシリコン系と比べると見ての通りの薄さです。

軽く、フレキシブルな材質で、様々な場所に設置が出来て、活用の幅が広がります。

原料も日本で多く取れるヨウ素が主なので、国内生産が可能とのことで、2025年にも実用化されていく予定です。今後も注視して参ります。

情報コミュニケーション条例に向けて



金澤教授からリモートでの手話教育の説明

昨年、議員提案条例として成立した「手話言語条例」に続き、全ての人への情報保障を進めるための「情報コミュニケーション条例」の制定に向けて都議会が動き始めました。

須山たかしは「手話言語条例」に引き続き、条例制定のワーキングチームに参加をして議論を進めて参ります。

その一環として、6月に会派として群馬大学の金澤教授の手話サポーター養成事業やリモートでの手話教育などを視察を行い、意見交換をさせて頂きました。

東京都議会議員 須山たかし事務所

〒192-0046

東京都八王子市明神町3-10-6

イサムビル303

✉ suyamaoffice1980@gmail.com

須山たかしで検索

都政へのご意見・ご要望を
お待ちしております。

右記QRコードからLINEで
お寄せください▶▶

